設立四十周年に寄せて

継承、そして発展へ

副会長（北海道）　菅谷　英孝

全国連合退職校長会設立四十周年誠にご同慶の至りです。

昭和四十年六月十日、結成大会で可決された「規約」には、会の目的として「都道府県退職校長会の連合体として教育尊重の実をあげ日本教育の振興に寄与することを目的とする」と高らかにうたわれています。

爾来四十年、この目的は全連退設立の理念として、今日九万有余の会員を擁する都道府県退職校長会の各組織に脈々として受け継がれていると思います。

全連退はこの目的遂行のため歴代会長をはじめ、常任理事の方々に人材を得、時代の教育課題を的確に捉え、連合体の指令塔として、理論的にも、行動の上でも全国の退職校長会に対し常に先導的役割を果してきました。

今や全国に五十一の退職校長会の加盟を得、十万になんなんとする会員を擁する大組織となった所以はここに在ると思います。

北海道退職校長会は、昭和三十九年「全国連合退職校長会結成準備委員会」から「結成趣意書」を受け、翌四十年五月会員二三六名をもって創立いたしました。

以来、年々会員は増え続け、支部の結成となり、明年の創立四十周年を控えた現在、会員は約六千、四十の支部を数える組織となりました。

道退職校長会もまた、創立以来、歴代会長はじめ役員、会員が「北海道教育の振興に寄与する」とした精神を継承し、会の発展に尽くして下さいました。

まさに、全連退と共に歩んだ北海道退職校長会四十年の道程であったと思います。

急激に進められる教育改革の流れの中で、全連退の一層の指導性を期待いたしております。